

目黒川の桜

今日は午前中に法人本部で評議会があつて、多摩大学目黒高等学校まで出かけて来ました。JR 目黒駅西口から目黒通りに沿って権之助坂を下ると、約 10 分で目黒川にたどり着きます。ここが目黒新橋で、ここから上流の中目黒にかけての約 4km の川沿いの緑道が都内有数の桜の名所として知られています。ここでは約 830 本のソメイヨシノの並木道が続き、満開の頃には多くの人手で賑わいます。今年の桜まつりは 3 月 29 日と 30 日に、ライトアップは 31 日まで実施されるそうです。

今年は例年になく暖かな陽気に誘われ、今日の日黒川の桜は 2 分咲きという感じでした。満開を待ちきれずに、早くも外国人観光客の方々が写真撮影に興じており、私も仲間になってシャッターを押しました。さらに、会議開始の時間まで少し余裕がありましたらから、目黒新橋の左岸を改装問題で物議を醸した目黒雅叙園のある下流に向かうと、行人坂と交わる太鼓橋の傍らで 1 本、しだれ桜が見事に咲き誇っていました。

ところで、ソメイヨシノの寿命は約 60 ～ 70 年と言われており、ここ目黒川沿いでは 1927 年に植えられたのが最初で、順次植え替え今に至っています。また、第二次世界大戦前から昭和 30 年代まで目黒川では友禅流しが行われるほど澄んでいたと伝えられており、川幅が狭く水深が深いため、よく氾濫し川沿いの住居の人々はたびたび水害に悩まされたそうです。そこで 1937 年には護岸工事に着手し、今のようなコンクリート製の川になったそうです。



